

< ぐ 挨拶 >

今年度も防災活動に取り組みますので、皆さんでご参加ください。

つくし野1・2丁目自治会
平成26年度・自治会長 鈴木 匡

平成26年度・つくし野自治会の会長に選任されました、西3-Bの鈴木 匡（まさし）です。なれない役割で微力ですので、皆さまのお力添えを是非ともお願い申し上げます。

今年度のつくし野1・2丁目自治会の活動の中では、首都圏直下の巨大地震に備えた防災活動が最も重要な活動と位置付けまして、皆さんと一緒に取り組んでいこうと思っております。

東北・東日本大震災の教訓はもとより、阪神淡路大地震の教訓も大事にして、どのようにすれば被害を最小限に食い止めることができるかを考えて、防災訓練を行っていきたくと存じています。

阪神淡路大震災では、亡くなった方の8割の方が、自分の家の中で無念の最期をとげています。

このことは、災害で最も大切なことは、自助努力と隣近所の助け合いであることを示しております。つくし野にお住まいの方に多いのは、我が家は地震には強いから大丈夫、と思っておられる方ですが本当にそうでしょうか。自分の家は大丈夫でもインフラは全滅しますので、とてもそれまでの生活を続けることは出来ません。

マグネチュード7以上の地震が発生すると、本震と同じような規模の余震が断続的に3～4日間続きます。当然ながら電気・ガス・水道、場合によっては下水も止まりますので、夜真っ暗の中で、ガスも使えず水も出ない、トイレも使えない状況の中で、断続的に次から次に余震が続くのです。恐ろしくてとても家にいられる状況ではありません。

また、組織的な支援が始まるのは、地震発生後3日位あとになります。道路は閉鎖され、がれきの山で救援車両も被災地に入ってこれないのです。それまでは、水や食料を含めてすべて自分の力で生活をしなければなりません。水は、一人1日3リットル必要です。

しかしながら、町田市には給水車両は1台あるだけですし、消防車はポンプ車が10台、救急車も7台しかありませんので、大震災直後には誰も助けには来てくれません。

つくし野地域の水の供給は、セントラルパークの給水所ですので、そこまで受け取りに行く必要があります。ご存じの通りセントラル・パークまで坂道が続きますので、高齢の方にはきつい作業になります。

つくし野地区は他地区より高齢化が進み、独居（一人暮らしの）高齢者、さまざまな障害を持った方、要介護の方が大勢おられます。その方々の支援をどうするかも重大な課題です。

このような状況の中で、防災・避難訓練を開催しますので、是非とも会員皆様のご理解をいただきますようお願いいたします。また、ご近所の非会員の方にも呼び掛けていただき、その方々を含めた防災訓練にしたいと思っております。

『1人の100歩より、100人の1歩』

自主防災隊本部 本部長 嶋田秀行

「3.11」の教訓から、自治会の自主防災を考えなおし、多くの取り組みをしてきました。皆様のご協力で随分成果が出てきております。

地域の防災の要は、自治会では「班」です。ご近所のつながり、ふれあいが深まることを第一義に考えています。班長さんには1年間お世話を掛けますがよろしくお願いします。(防災隊としては、前年、前々年の班長さんを「副班長」と位置づけてご協力をお願いしています。)

自治会員の皆様は、いざというとき助け合えるように

- 1、 火事を起こさないという覚悟をしてください
- 2、 火事が起きたときの、初期消火の備えをして下さい。
- 3、 家具の転倒防止対策をしてください
- 4、 水、食料、簡易トイレなどの備蓄をしてください
- 5、 訓練や地域の催しには参加して、顔馴染みを多くして下さい。

これらは全て生きのびるための対策です。

訓練や色々な防災対策がお役に立つことがないことを願いつつ、訓練や啓蒙活動は繰り返し実施いたします。あなたの参加をお待ちしています。



<つくし野1・2丁目自治会>

春の

5月25日(日) 防災訓練

<訓練の内容&タイムスケジュール>

<5月25日(日)午前9時「震度5」以上の地震発生!と想定>

9:00~9:10 一次集合場所へ、OKプレート出してから集合(※1を参照)

9:10~9:30 班員確認、「OKプレート」点検、支援が必要な方への声かけ

9:30~9:45 班長さんを中心に班会議を行う(自己紹介、防災チェックリスト)

9:45~ 近所の一斉清掃をしてから解散

※1 一次集合場所・・・原則として、自治委員(班長)の家の前